

AmiGISバージョン5フリー版の使用法

AmiGISバージョン5の概要

AmiGISバージョン5は国土空間データ基盤「数値地図2500」を対象として、地図データの入力、編集、加工をもとに、地図データ利用の目的に合わせて、各種の地図データを作成しデザインやCAD、CGに利用を開くものです。

「数値地図2500」のデータは、国土地理院形式の地形図（独自形式と呼ばれ「世界測地系版」と「日本測地系版」の2種あります）とXML形式の地形図（地理情報標準と呼ばれ「世界測地系版」です）より成ります。これらはデータの格納形式、データフォーマット、データの対象区域ともに全く異なります。地理院形式の地形図は横2Km、縦1.5Kmの国土基本図に対応した図郭で構成されますが、地理情報標準のXML形式の地形図は都府県の単位で地形データが構成されます。

AmiGISバージョン5では、上記2つの形式（厳密に言うと、国土地理院形式には「世界測地系版」と「日本測地系版」の2種ありますので3つの形式となります）をインストールして表示や地図データの加工を行えるようにしてあります。

「数値地図2500」のデータから構成される範囲は、国土地理院形式の地形図とXML形式の地形図では全く異なりますので、「全域図」の表示では、前者は「図郭線と図郭の名称」を、後者は「都府県界と市町村界」を表示しています。通常の表示、いわゆる図郭図（XML形式では都府県単位ですから1つの図郭扱い）では取得されているレイヤ毎に表示のオンオフが設定できます。

AmiGISバージョン5ではブラウザ機能と正確な縮尺の印刷、地図データの加工ができ、公共建物の仮削除や、ユーザが代替建物を入力できる機能、あるいは建物に付随する注記や地図記号、線データの仮削除や、代替地物を入力できるユーザマップ機能があります。ユーザマップは各種の面形状（公園、地域や家形等）、線形状データ、注記・記号および注記の囲み図形、さまざまなシンボル等を自由に作成・入力できる機能です。

地図データ変換として、クリップボードからのBMP画像データをはじめ、縮尺や範囲とも自由なEMF（ウインドウズ拡張メタファイル）が作れ、EPSファイル、DXFファイル変換が実行できます。これらを利用してデザインからCAD、CGのツールまで自由に応用できます。DXFファイルは2D（2次元）と3D（3次元）の変換が選択でき、3D変換されたポリゴンや建物は、3DのCADや景観CGのベースデータとなります。公共建物で不足する建物はユーザマップとして入力でき、高さを自由に設定できます。建物データの3Dデータとしての有用性は3次元ポリラインのみならず、3DFACEやSOLIDエンティティとして変換される多様性にあります。

印刷は任意の縮尺で実行でき、A4からB0スーパーまで、接続できるプリンタに合わせて出力します。

AmiGISバージョン5開発のベースとなるGIS基本ツールAMIをはじめ、全ソースプログラムコード及び漢字表記に用いられるストロークデータ、アウトラインストロークデータまで、全て弊社でオリジナルに作成されたものです。

フリー版では、上記の機能のうち、印刷および地図データ変換のEMF（拡張メタファイル）、EPSファイル、DXFファイル変換が実行できません。

*地理情報システムの骨格となる「線データから面データを構成する」アルゴリズムに関して、弊社では独自の法論を編み出し特許を取得しております。また、図郭跨りの処理および領域分割面の分割、統合に関して、独自の法論により特許の出願を行っております。

（特許第3340816号）

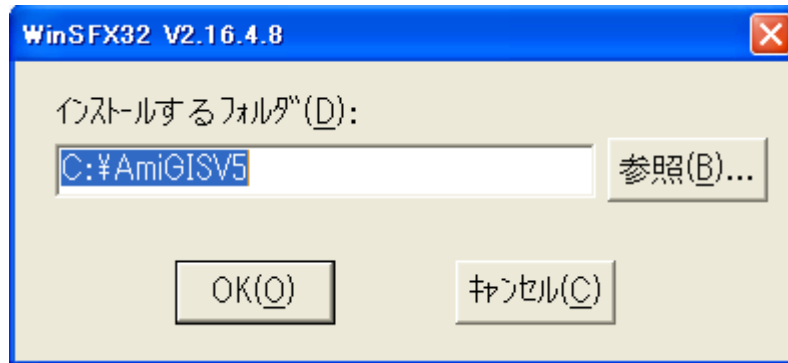
動作環境

動作環境は、以下のようです。

OS	: Windows 98、NT、Me、2000、Xp、Vista、7
CPU	: Pentium300MHz 以上を推奨
メモリ	: 256MB 以上を推奨
ディスプレイ	: 1024 x 768 ドット以上を推奨

インストール方法

ダウンロードされたファイルAGV5free.EXEをダブルクリック（または右ボタン「開く」）します。以下のような画面が現れます。



通常はこのまま OK をクリックすればインストールを開始します。
特にフォルダーを指定したい場合は C:\¥AmiGISV5 を書き換えてください。
これで、AmiGISバージョン5フリー版のインストールは終了です。

アンインストール方法

アンインストールはここで作成したフォルダー全体を消去するだけです。

地図データのインストール方法

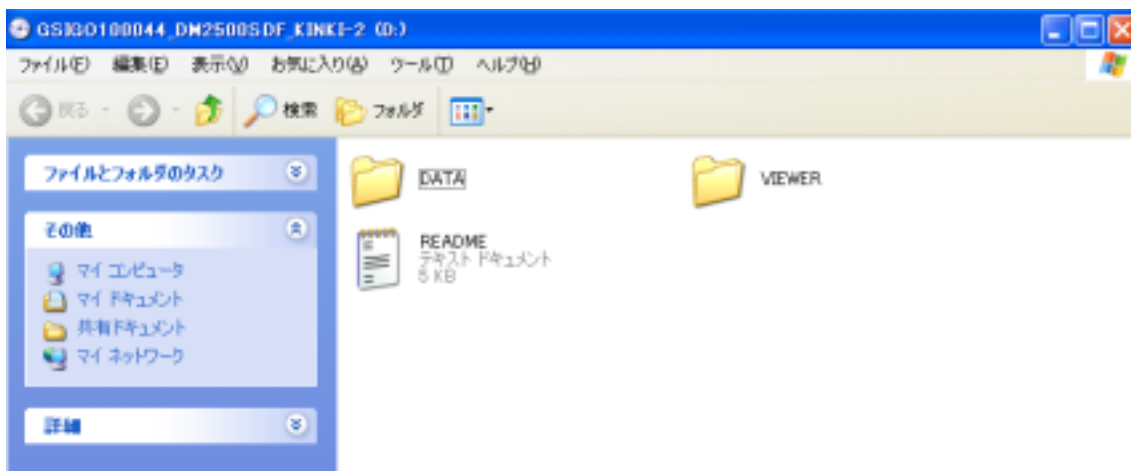
地図データのインストールは「数値地図2500」のデータ形式により大きく異なります。これは、国土地理院形式の地形図（独自形式と呼ばれ「世界測地系版」と「日本測地系版」の2種あります）とXML形式の地形図（地理情報標準とも呼ばれ「世界測地系版」です）では、格納形式、データフォーマット、データの対象区域ともに全く異なることによります。

ここでは、XML形式の地形図のインストール、国土地理院形式の地形図のインストールについてそれぞれ説明します。

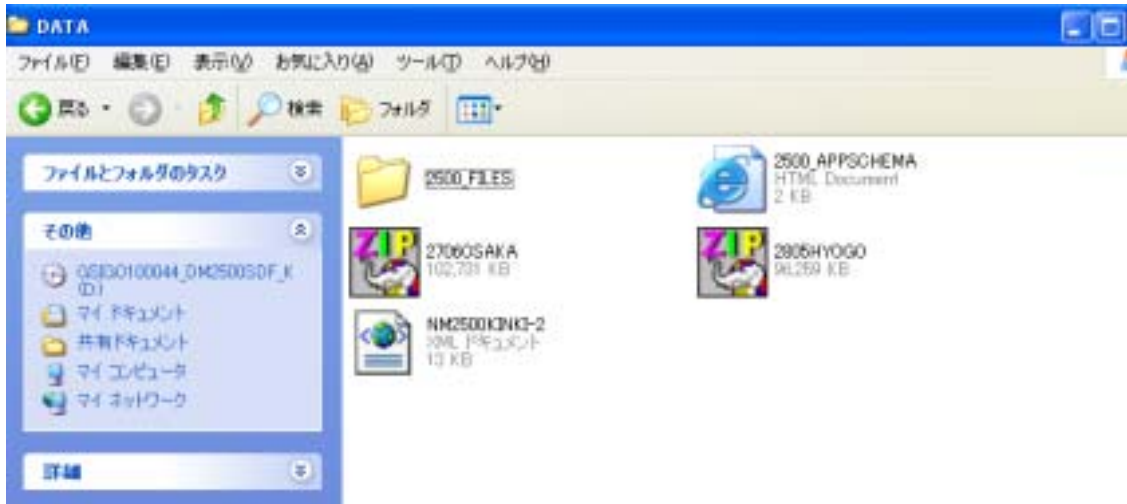
XML形式の地形図のインストール

手順1（XML形式の地図データの複写）

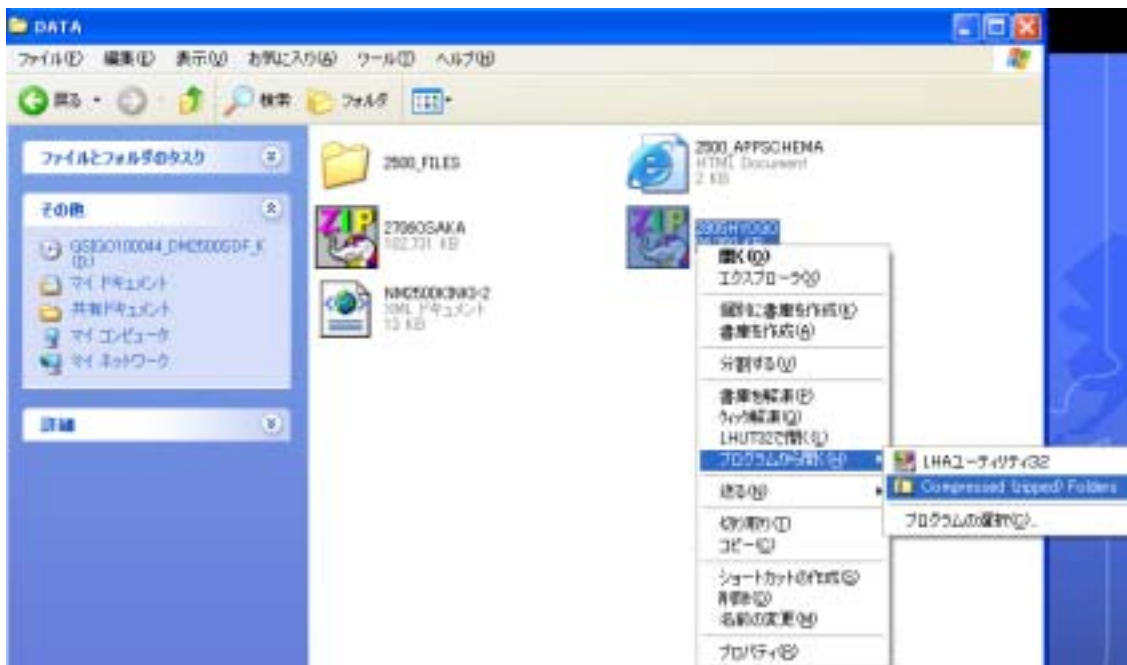
「数値地図2500」のCD-ROMをCDドライブに入れて下さい。次のような画面が現れます。



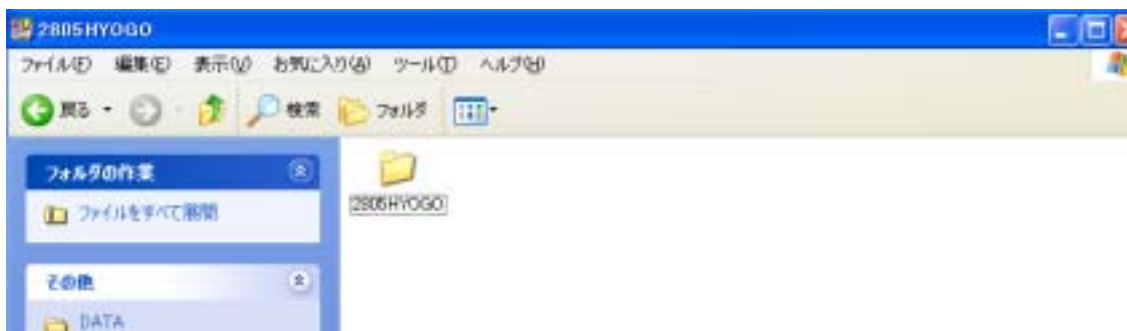
DATAフォルダーをダブルクリック（または右ボタン「開く」）すると以下の表示となります。



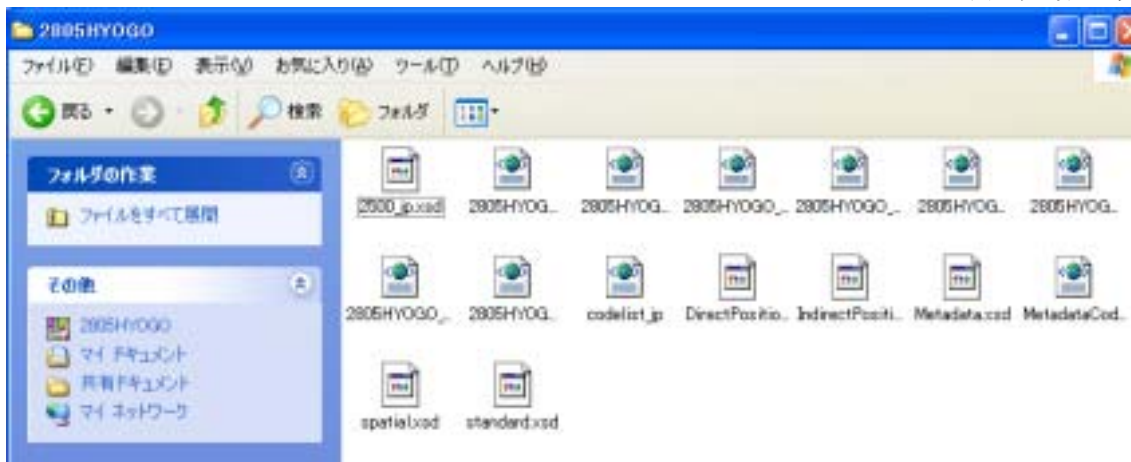
ここで対象とする都府県を選択（例えば2805HYOGO）して、次図のように、右ボタンをクリックし「プログラムから開く」 - 「Compressed(Zipped)Folders」を選びます。



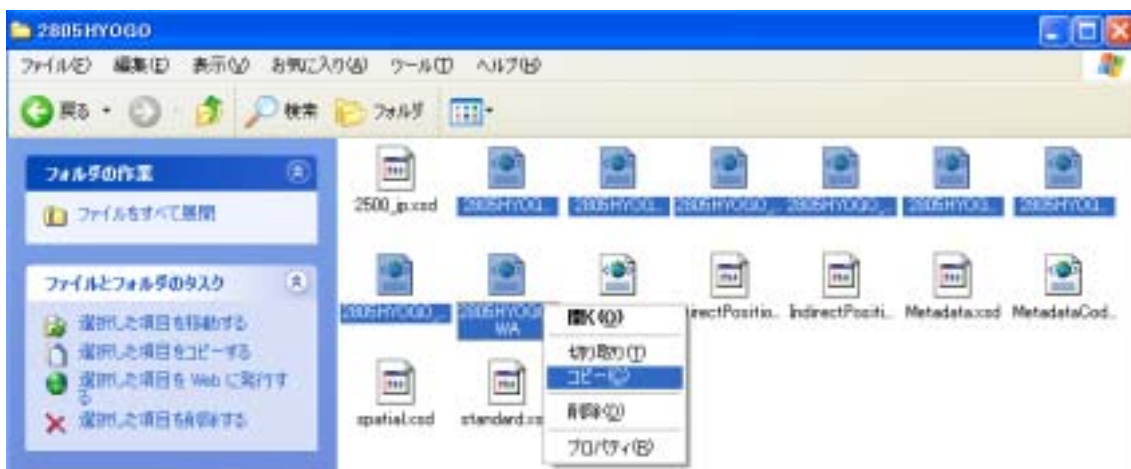
圧縮ファイルが下図のようにフォルダー表示されます。



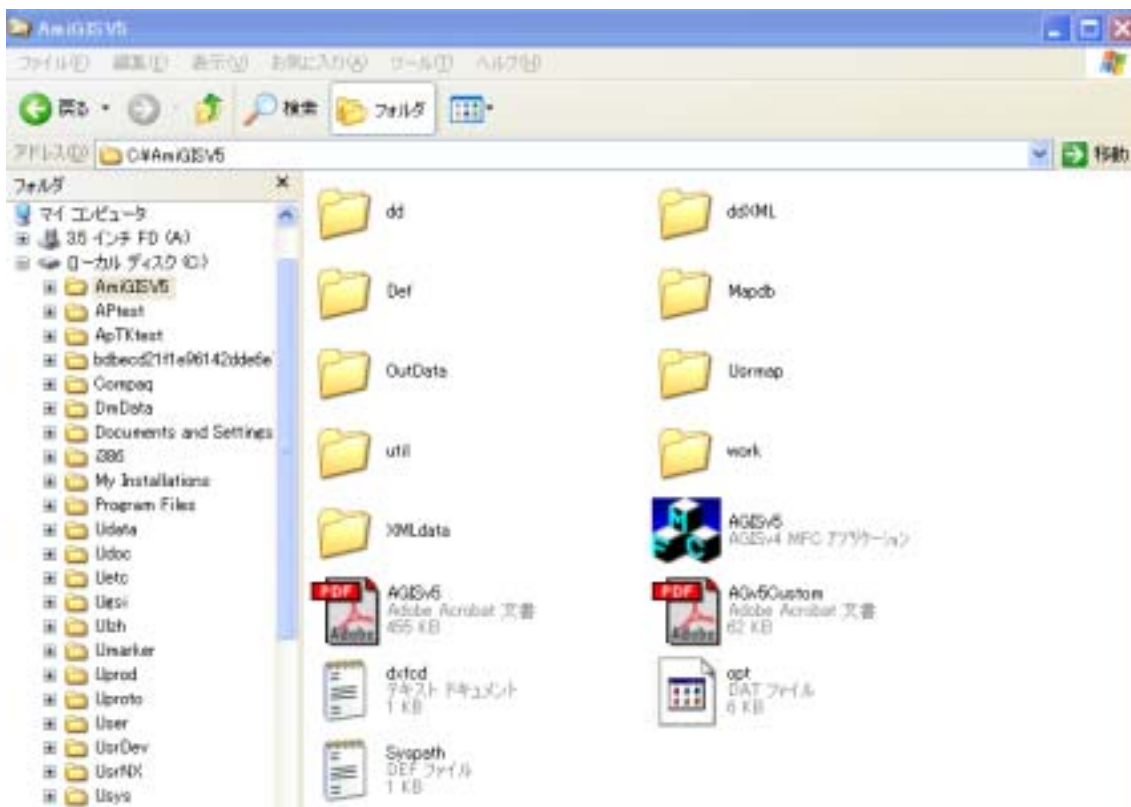
2805HYOGOを右ボタンから「開く」と下図のように圧縮ファイルの内容が表示されます。



必要な地形データはXML形式の8つのファイル(2番目から9番目のファイル)です。これらをCTRLキーを押しながら選択し、次図のように、右ボタン「コピー」を選びます。



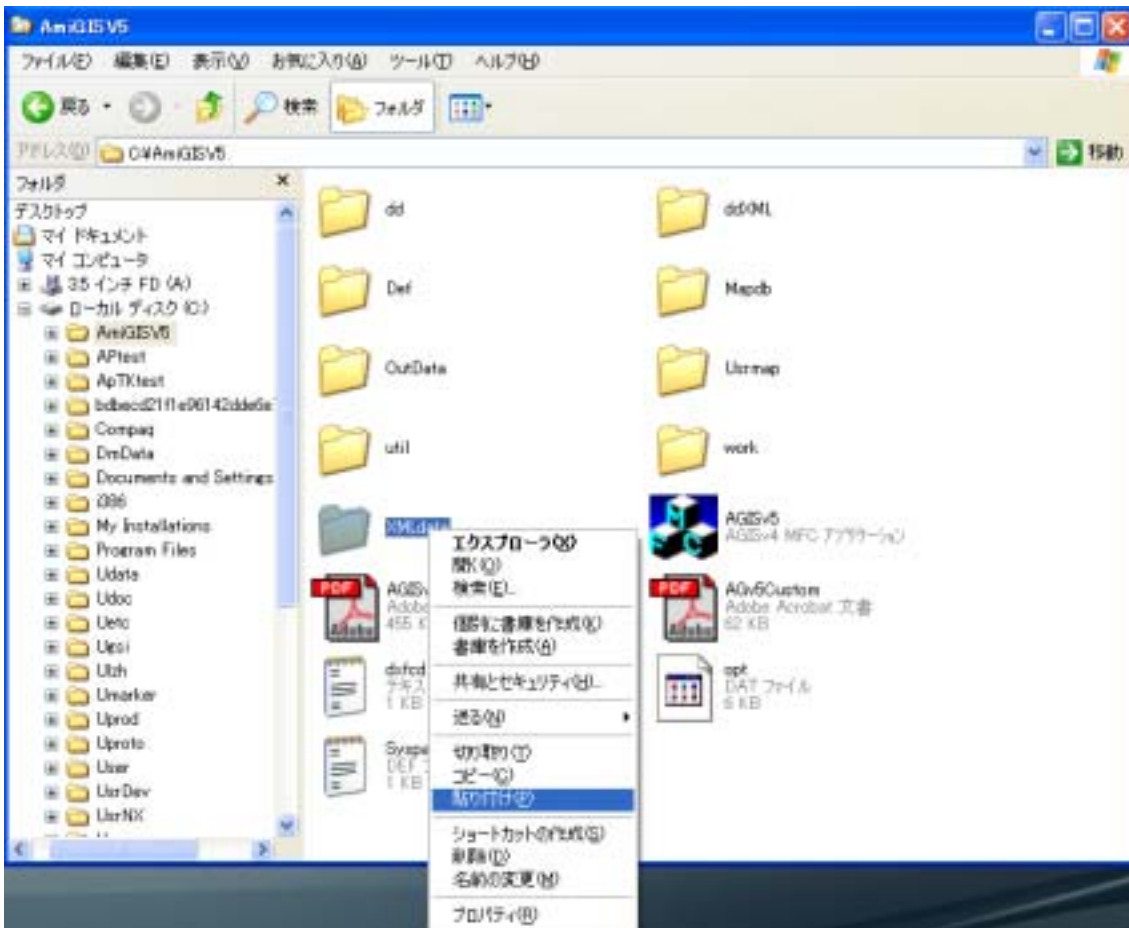
エクスプローラを立ち上げ、AmiGISバージョン5をインストールしたフォルダーを開きます。



XML dataフォルダーをクリックして、次頁の図のように右ボタンから「貼り付け」を選びます。これで「数値地図2500」のCDから必要なXMLデータが複写されます。

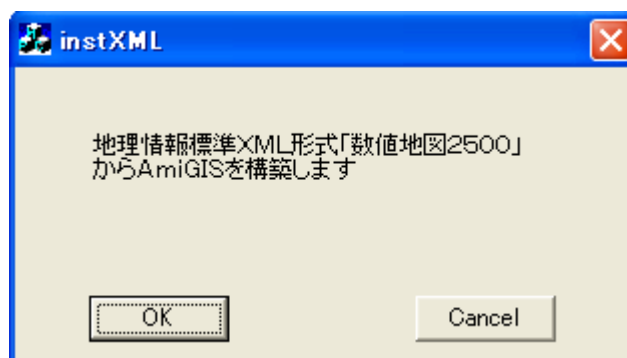
圧縮ファイルが解凍されながら複写されますが、解凍後のファイルは1GBを超える場合が多く、複写の時間は3～5分位要します。

必要なXMLデータの複写が終了したら、「数値地図2500」のCDの画面は、[戻る]ボタンで最初の画面に戻り、終了させます。「数値地図2500」のCDは抜いて下さい。



手順2 (XML形式の地図データのコンバート)

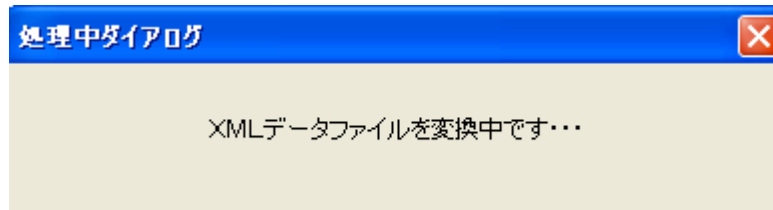
インストールしたフォルダー（デフォルトではC:\¥AmiGISV5）のサブフォルダー dd XMLを開いて下さい。このフォルダーの instXML.exe をダブルクリック（または右ボタン「開く」）すると、以下のような画面が現れます。



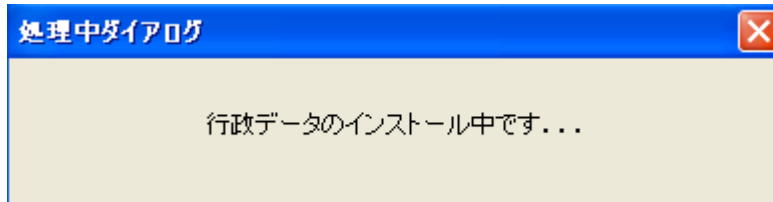
[OK]をクリックするとXML形式の地図データのコンバートが始まります。

地図データのコンバートはu t f 8形式のXMLデータをテキスト形式に変換する作業と、テキスト形式のデータを内部形式に変換する作業の二段階で行われます。それぞれ5分から10分程要しますので、コーヒープレイクの時間をお取り下さい。

まず、utf8形式のXMLデータをテキスト形式に変換する作業が実行されます。下図のようなメッセージが現れ、5分ほど実行が続きます。

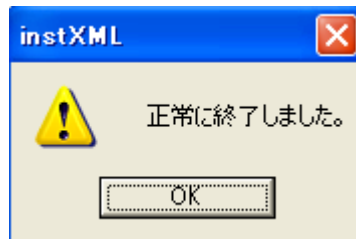


途中メッセージ画面が切り替わり、テキスト形式のデータを内部形式に変換する作業となります。



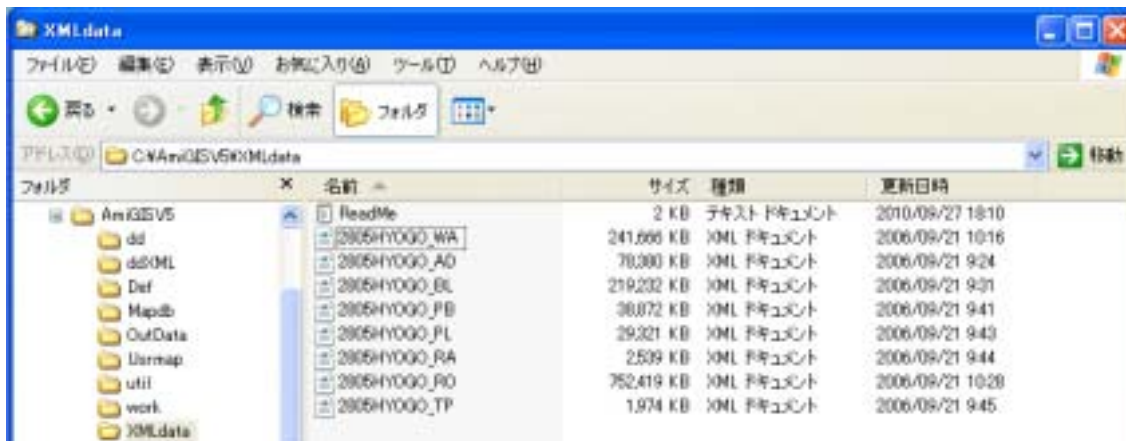
このメッセージの後、街区データ、場地データ、水部データ、公共建物データ、道路データ、鉄道データと次々とメッセージが切り替わってゆきます。

コンバート作業が終了するとインストール終了の画面となります。

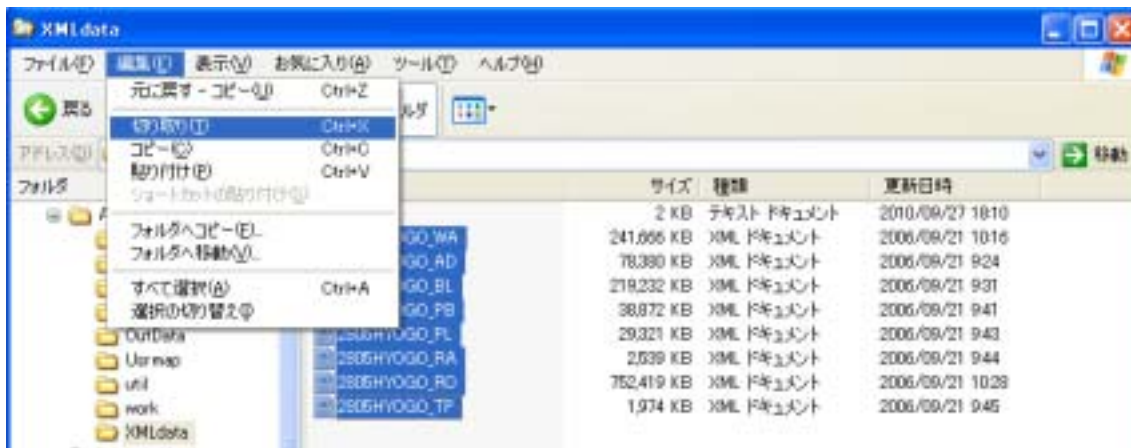


手順3 (XMLデータの削除)

インストールしたフォルダーのサブフォルダーXMLdataを開いて下さい。
下図のようになっています。



次図のように「数値地図2500」のCDから複写されたXMLデータを選択し、メニューバーの[編集] - [切り取り]を選び、不要になったXMLデータを削除して下さい。



国土地理院形式の地形図のインストール

手順1 (数値地図2500の図郭データの集積)

「数値地図2500」のCDまたは国土地理院のホームページからダウンロードしたファイル等より、作成したい地図データを取り出し、ワークフォルダーに集めます。対象となる地図データは「09LD183」のようなフォルダー1つが1枚の図郭に対応します。ワークフォルダーに集めず、CDのままでも実行できますが、複数枚のCDにわたる地域で地図システムを作るには、ワークフォルダーに集める必要があります。

地図データは1枚の図郭でも、600枚の図郭でもかまいません。枚数に制限はありませんが、同一座標系でなければなりません。これは、例えば関東地方では9系、近畿では6系といった国土座標の座標系番号です。

<注意>

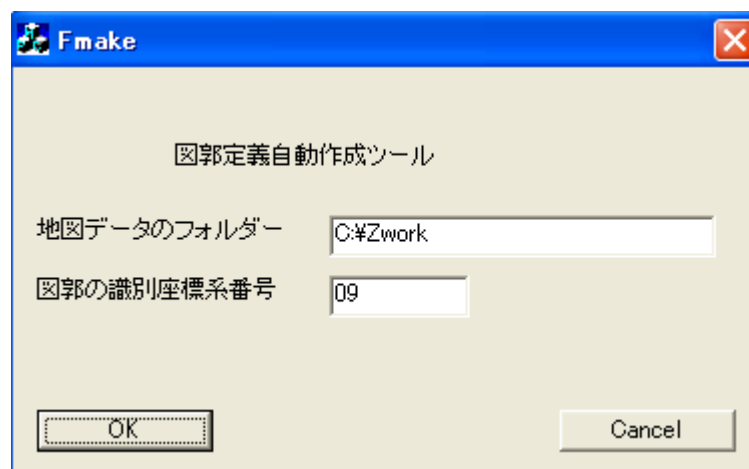
「数値地図2500」のCDでなく、国土地理院のホームページからダウンロードする場合には、圧縮ファイルになっていますので、予め解凍した上で、必要な地図データ(図郭)を集めて下さい。

手順2 (図郭割りの自動生成)

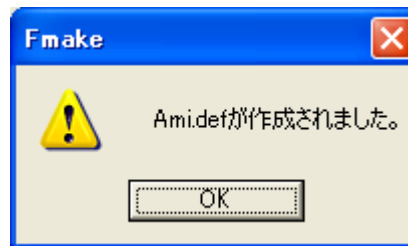
インストールしたフォルダー(デフォルトではC:\¥AmiGISV5)のサブフォルダーddを開いて下さい。

このフォルダーのFmake.exeをダブルクリック(または右ボタン「開く」)すると、以下のような画面が現れます。

手順1で集めた「数値地図2500」のデータのフォルダーと、座標系番号を指定し、[OK]をクリックします。地図データのフォルダーはドライブを込めて正しく記入して下さい。ドライブは「C:\¥」のように半角です。座標系番号は「09LD183」のように地図データファイルの先頭2文字を半角(この場合は09)で記入します。



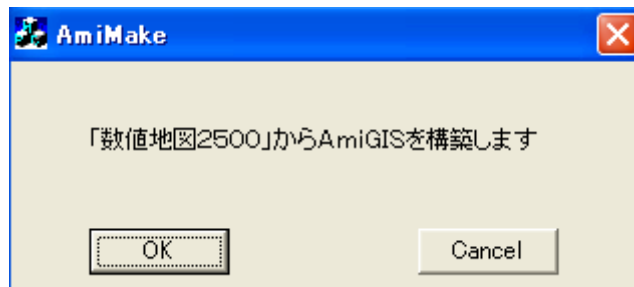
これで、対象となる地図データの図郭割りが自動的に作成されます。



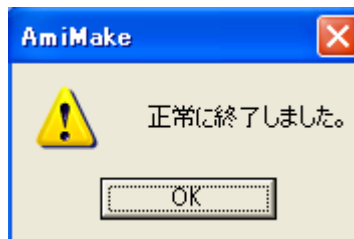
[OK] をクリックして下さい。

手順3 (図郭単位の地図データのインストール)

次に、このフォルダーの AmiMake.exe をダブルクリック (または右ボタン「開く」) します。
以下のような画面が現れます。



[OK] をクリックすると、地図データのインストールが始まります。インストール所要時間は、対象となる図郭の数により異なります。全体図郭のうち、何番目を実行しているかのメッセージが表示されます。
インストールの終了メッセージが現れれば、地図データのインストールは終了です。



<<注意>>

国土地理院形式の地形データとXML形式のデータを同時にインストールすることはできません。

また、国土地理院形式の地形データは「同一座標系である限り」図郭が何枚になっても構いませんが、XML形式の地形データは都府県単位になっていますので、これだけでインストールしなければなりません。何れにする対象範囲が異なれば、AmiGIS全体を別のフォルダーにインストールし直して、新たに地形データを展開して下さい。

起動方法

インストールしたフォルダー (デフォルトでは C:\¥AmiGISV5) にある AGV5free.exe をダブルクリック (または右ボタン「開く」) でシステムの実行が始まります。

起動を容易にするには、ショートカットを作成してショートカットから実行するのが便利です。

ショートカットの作り方

インストールしたフォルダー (デフォルトでは C:\¥AmiGISV5) にある AGV5free.exe をクリックして反転させます。ここで右ボタンから「コピー」を選びます。次にマウスをウィンドウのデスクトップへ移動し、右ボタンから「ショートカットの貼り付け」を選びます。これでAmiGISバージョン5フリー版のショートカットが作成されます。

実行はショートカットのアイコンをダブルクリック (または右ボタン「開く」) するだけです。

操作説明書について

操作説明書はオンラインPDF文書となっています。カスタマイズ説明は実行フォルダーにあり以下のような名称で格納されていますので、随時ご参照下さい。説明書は正規版のものを援用しております。フリー版では幾つかの機能が制限されております。ご了承下さい。

[操作説明書] AGISv5.PDF

[カスタマイズ説明] AGv5Custom.PDF

[インストール上の注意]

「数値地図2500」のデータは、国土地理院形式の地形図（独自形式と呼ばれ「世界測地系版」と「日本測地系版」の2種あります）とXML形式の地形図（地理情報標準とも呼ばれ「世界測地系版」です）より成ります。このうち、XML形式の地形図は都府県単位で地形図データが格納されているため、通常1GBを超える容量となります。XML形式の地図データのインストールでは、これらを一旦ディスクに格納するため、実行時のワークファイルを含め3GBといった容量が必要です。

ディスクの容量が十分ある事をお確かめの上インストールを行って下さい。

お問い合わせ先

ミューエス株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2丁目14番19号

Tel:03-3446-8456 Fax:03-3446-8073

E-mail:ami@mues.co.jp

URL=<http://www.mues.co.jp>